

「子供の森」計画

in ミャンマー



子どもたちの「自然を愛する心」を育みながら地球緑化を進める「子供の森」計画。2011年に活動10周年を迎えたミャンマーでは、大きく育った木々の下で勉強をする子どもたちの姿がよく見られます。自然の恩恵を感じ、これからもまた次の世代へ繋げられるよう植林活動や環境教育を推進していきます。

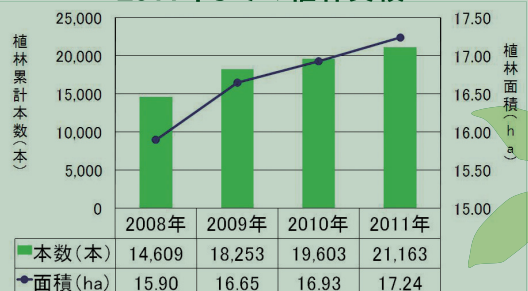


2011年の活動

- 2011年は30の学校で重点的に植林活動や環境教育を実施（植林1,560本・面積0.31ha）
- 新しく2つの学校で「子供の森」計画が始まりました！
- 自然を愛するにはまずは環境美化から。ゴミ拾いにも取り組みました。

「子供の森」計画参加学校数(2001年からの累計値)：57校

2011年までの植林実績



ミャンマー



- ◆人口：61,187百万人(2010年IMF推計値 日本は127,594百万人)
- ◆面積：68万km²(総務省統計局資料2008年値 日本は37万8千km²)
- ◆一人当たりGDP：804 US\$ (2011年9月IMF試算値 日本は45,774 US\$)
- ◆森林率：48%(2010年FAO公表値 日本は69%)
- ◆「子供の森」計画積極展開地域(丸印)：バコック県



ミャンマーの活動を支援して下さる方を募集しています。ご支援や各地域の子どもたちの活動の様子はこちらから

「子供の森」計画情報提供サイト
www.kodomonono-mori.info



ベルマークや書き損じはがきも募集しています。ベルマークは1点1円として「子供の森」計画の支援となります。事務局までお送りください。

事務局



公益財団法人
オイスカ

〒168-0063 東京都杉並区和泉3-6-12
 ☎ (03) 3322-5161 ☎ (03) 3324-7111 E-mail oisca@oisca.org
<http://www.oisca.org/>



ミャンマーの「子供の森」
計画は2011年で10周年!

祝! 最優秀校に選ばれる

2011年、オイスカが創立50周年を迎えた記念の年に、ミャンマーでの「子供の森」計画は10周年を迎えました。2001年に開始したミャンマーの「子供の森」計画は、当初2校からスタートし、その後はセンター周辺の村々に活動を広げ、11年までの10年間に累計57校で実施してきました。そして、7月にミャンマー農林業研修センターで行われたオイスカ創立50周年並びに同センター設立15周年を祝う記念式典の場で、これまでの10年間で最も優れた活動を行ってきた学校としてサインティ小学校が表彰されました。2007年の活動開始当初は、大きな樹木がほとんどなかったサインティ小学校の校内には、5年が過ぎた現在では大きく成長した木々が茂り、子どもたちの憩いの場となっています。学校も村も規模は小さいですが、先生と子どもそして村人が一つの気持ちで取り組んだ大きな成果と言

えるでしょう。また、11月にはミャンマーの代表校として日本の経団連自然保護協議会の方々の訪問を受け、村人たちも含めた交流会や記念植林を行いました。



記念式典では代表の子どもたちが記念品を受け取りました



大きく成長した木の下で過ごす時間が子どもたちは大好き



4つのグループがそれぞれに
頑張っ活動したよ

英雄になるための4つの誓い

ミャンマーの小学校では、児童全員が4色(黄、緑、赤、青)のグループに分かれて国旗掲揚などの校内作業を週交代で分担して行っています。この4色はミャンマーの歴史上の英雄を表す色でもあり、子どもから大人まで親しみのある色です。2011年、ミャンマーの「子供の森」計画ではこの4色のグループ分けに習い、水(飲み水管理)、清掃(ゴミの管理)、トイレ(衛生的な使い方)、環境(植林した木の管理)の4グループに分かれて取り組みを行いました。

的な取り組みが見られませんでした。今年は、それぞれ4つのグループの活動を英雄のような立派な大人になるための4つの誓いとし、グループ分けされた上級生が下級生を指導しながら取り組みを進めました。その結果、校内はとても管理が行き届いて見違えるようにきれいになり、先生や親たちも驚くほどでした。英雄になるための4つの誓いを胸に、今日も子どもたちは頑張っ活動をしています



4つのグループの代表の子どもたち

そして、今年の参加校の中で最も活動が活発であったのがこのカンサトー小学校です。この学校は08年から「子供の森」計画に参加しましたが、最初の数年はあまり積極



環境グループは木の管理に力を入れました



清掃グループは校内や学校の周りをきれいにしました

TOPICS

第二のふるさとが緑豊かな森になる日を夢見て

私は「子供の森」計画コーディネーターをしているバン・リアン・チェウです。私はスタッフの中で唯一、山岳地方のチン州の出身です。チン州は、オイスカのミャンマー農林業研修センターのある自然環境の厳しい中央乾燥地帯と違い、緑の山々に囲まれた自然豊かな所です。まばらな灌木しかなく水不足に苦しんでいるセンターの周辺の村々には、私のふるさとのような豊かな森が必要だと思います。これからも、私の第二のふるさとでもある中央乾燥地帯が豊かな森になるよう「子供の森」計画に力を入れて取り組んでいきたいです。



子どもたちに木の植え方を教えるバン・リアン・チェウ